

「全国型CTFコンテスト@松山会場」を開催

- 総務省四国総合通信局は、令和6年11月30日、学生及び若手社会人を対象とした「**全国型CTFコンテスト**」を愛媛県松山市において開催し、愛媛県、香川県、広島県から**大学生、若手社会人 計約10名**の参加がありました。
- コンテストでは、全国7会場とオンライン参加者をつなぐハイブリッド形式で、巧妙化するサイバー攻撃に関する最新情報の講演や、サイバーセキュリティの基礎知識を習得するための旗取りゲーム（CTF※）を実施し、サイバーセキュリティへの興味・関心を高めていただきました。

※Capture The Flag：答えとなるFLAGを探すゲーム形式のセキュリティのコンテスト

開催概要

- 【日時】 令和6年11月30日（土）13時～17時
- 【場所】 TKP松山市駅前 カンファレンスセンターホール2D
（愛媛県松山市千舟町4-3-7）
- 【対象】 サイバーセキュリティに興味がある中学生・高校生・高専生・大学生・大学院生・若手社会人（3年目まで）
- 【主催】 総務省サイバーセキュリティ統括官室・東北総合通信局・関東総合通信局・北陸総合通信局・近畿総合通信局・中国総合通信局・四国総合通信局・九州総合通信局

プログラム

◆第一部：講演「サイバー攻撃のトレンド」（55分）

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）
ナショナルサイバートレーニングセンター長 園田 道夫 氏

講師から、昨今話題になっているインシデント事例などを紹介しながら、巧妙化するサイバー攻撃のトレンドをご解説いただきました。

◆第二部：CTFコンテスト（150分）

参加者持参のPC・解析ツールを用いて、サイバーセキュリティに関する問題を解いていただきました。問題には難易度に応じてそれぞれ異なるポイントが設定されており、合計得点を競うコンテストを実施しました。

ランドマーク等の写真から正確な場所を特定したり、壊れた画像を解析して復元したり、パケットを追跡したりといった問題が出題され、参加者は真剣に取り組んでいました。

<講演の様子>



<CTFコンテストの様子>



*参加者の声（アンケートより）

- 「CTFは初めてだったが、ゲームのような感覚で楽しく解くことができた。周りの競技者と競争することでより楽しめた。」
- 「実際に手を動かして理解を深めるよい機会となった。」
- 「対面で競争相手の顔を見ながらCTFをするのはとても楽しかった。」
- 「セキュリティについての全般の話は勿論のこと、現状抱えるセキュリティ問題を聞いた事にとっても関心を持てた。」
- 「全国で配信を繋いだCTFは珍しく、多くの方がセキュリティに興味があり努力しているという事実が、今後も頑張ろうというモチベーションになった。」